

お誕生日の絵本

Birthday Gift Picture Book

上野実彬

指導教員 西野隆司

1) サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 値値創造研究室

キーワード：絵本・お誕生日・子供・家族・思い出

研究目的

身近で赤ちゃんがたくさん産まれ、「お誕生日の絵本」を贈りたいと考えていた。そこで、書店や雑貨屋に意外と商品がなく、個人での購入が難しいことに気がつき、新しく制作したいと考えた。

家族で工夫しながらオリジナル性のあるものを作り、その本を家族間、友人間との交流を深めること、デジタルデータだけではなく、大切な思い出を手元に長く形として残すことを目的とする。

調査内容

・既存商品

既存商品には、セミオーダータイプと記入タイプの2タイプがある。セミオーダータイプのものは、絵本に名入れができるようになっている。絵本のストーリーは変更できないが、物語の主人公を好きな名前に変更し、世界で一冊だけの絵本を制作することができる。記入タイプのものは、いくつか質問が書いてあり、空欄に自分で記入する。写真を貼るページや手形を押すページがあり、より個性を出すことができる。

・本の内容

記入要素は「日付、名前、歳、身長、体重、好きな遊び、好きな食べ物、得意なこと、将来の夢、お手紙、メッセージ、手形を押す、自由記入欄」といった項目がある。最終提案物もこの内容を参考にす

る。

・子供的好む色

愛知県一宮市内のK幼稚園の幼児64名（年少児31名、年長児33名）を対象に行った調査（論文「幼児の嗜好する色彩特徴」）では、「年少児全体については、赤色と黄色が最も多く好まれ、暖色系の色が好まれることがわかる。嫌いな色については白色が最も多く、無彩色で4割強を占めている。これらのことから、年少児は男児、女児ともに暖色系が好まれ、寒色が好まれないという特色が明確に結論できる。」という結論が出ている。最終提案物に使用するカラーはこの結果に加え、さらに調査した結果を参考にして決定する。

コンセプト及びアイディア展開

コンセプトは「思い出を家族で楽しむ」とする。アイディア展開は、既存商品にもある記入タイプのものをベースに行った。

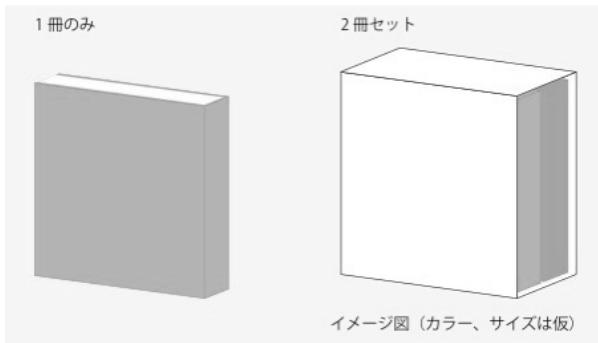
・1冊のみの場合

3歳以上の子供とその家族にプレゼントをすることを想定した絵本を制作する。内容は既存の商品にあった項目を参考にし、物語調ではなく、質問に答えていく形式にする。そこに仕掛け絵本の要素を加える。

・2冊セットの場合

3歳以上の子供とその家族にプレゼントをするこ

とを想定した絵本に加え、赤ちゃんの頃の記録も残せる本とセットのものを制作する。子供たちにも分かりやすいように言葉遣いに気をつける。(例: お起きくなったらなにになりたい?) また、特定のキャラクターは使用せず、好みが偏りすぎないようにする。



現段階での提案

3歳以上の子供を対象にした絵本を制作する。絵本の内容は、調査内容にも明記した記入要素を想定している。子供たちにより楽しんでもらえるような工夫として、仕掛け絵本の要素も加える。具体的には、ページを開くと立体的に飛び出すタイプ、つまりを押し出すとメッセージカードが出てくる仕掛けを想定している。

流れとしては、小さい子供がいる家族に友人が絵本をプレゼントし受け取った家族が楽しみながら絵本を完成させていく、また、自分の子供のために絵本を購入し、完成させることを想定している。そのため、ターゲットとしては、購入者を子供がいる家族とその友人とし、プレゼントをする相手は子供がいる家族と、購入者の子供とする。

今後の展開

関係する論文を探し、子供の絵本に対する関心について調査する。また、対象の家族にアンケート調査を行い、どのような項目や仕掛けを入れたら良いのかを検討し、試作を重ねる。試作を対象の家族に

実際に記入してもらい、修正を加える。

紙の種類についても、さらに調査が必要である。

参考文献

- ・ギフト絵本ドットコム, 「ギフト絵本ドットコム」, (2017年6月26日取得, <http://www.gift-ehon.com>)
- ・庄司三智子 作・絵, 『お誕生日のほん』
- ・村ひさき 作・絵, 『地球はごちそう』
- ・ますやまあつし 作, ベスティー・ウォカー 画, 『GOD'S SPECIAL GIFTS TO ME』
- ・ジョーゼフ・フィッタント 作, あきよしこ 訳, ヴァレリー・ウェブ 画, 『THE BIG PARADE』
- ・Frederick Warne & Co. Ltd 絵, 『お誕生日おめでとう ピーターラビットのお誕生日のほん』福音館書店
- ・なかやみや 絵, 『そらまめくんより お誕生日おめでとう』株式会社福音館書店
- ・菅谷暁美 絵, 『お誕生日のおくりもの』チャイルド本社
- ・森俊夫・齋藤益美・梶浦恭子著, 家政学部生活科学科生活科学専攻, 2010, 「幼児の嗜好する色彩特徴」, 45-51